

令和6年度 事業報告書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

第1 職業能力評価に係る基盤の整備・充実

事 項	実 施 状 況
1 良質な技能検定 試験問題等の作成 と技能検定制度の 普及促進	
(1) 技能検定試験問 題等の作成	検定職種（作業）ごとに中央技能検定委員会を開催し、現場における技術・技能の動向等を踏まえるとともに、都道府県職業能力開発協会（以下「都道府県協会」という。）の実施経費低減並びに受検者増を目指した良質な試験問題及びその実施要領を作成した。 また、外国人に対する技能実習制度に係る職種（作業）について、試験問題等の作成を行った。 ア 等級別作業数 649作業〔666作業〕 イ 技能検定受検申請者総数 273,085名〔251,047名〕 注〔 〕内は令和5年度実績。以下同じ。
(2) 技能検定制度の 普及・促進	リーフレットの活用、ホームページでの情報提供等による広報活動、関係団体等を通じた受検勧奨を行った。
(3) 技能検定試験業 務の指導	ア 都道府県、都道府県協会、都道府県技能検定委員に対し、課題内容、採点基準、試験用機材・設備、試験実施に係る留意事項の説明等を行うことにより、全国的水準の統一を図ることを目的とした技能検定実技試験水準調整会議を開催し、技能検定実技試験実施についての技術的な業務指導を行った。 [前期]（オンライン） 令和6年5月16日 2級 建具製作（木製建具手加工作業） 令和6年5月16日 1・2級 とび(とび作業)

事 項	実 施 状 況
(4) 都道府県技能検 定委員の研修の 実施	[後期] 令和6年11月8日 2級 菓子製造（洋菓子製造作業） 令和6年11月8日 1・2・3級 広告美術仕上げ（広告面粘着シー ト仕上げ作業） イ 「ダイカスト」、「機械加工」、「広告美術」、「菓子製造」など約14職 種の技能検定実技試験会場を訪問、視察し、都道府県技能検定委員等 から技能検定試験の課題内容等について意見等を聴取した。 都道府県技能検定委員を対象に、資質の向上及び試験の公正な実施 のため、次の職種・作業について研修を行った。 1級 フラワー装飾（フラワー装飾作業） ア 開催日：令和6年4月23日 イ 場 所：AP西新宿（東京都） ウ 出席者：都道府県技能検定委員、中央技能検定委員、厚生労働省 職員 1・2級 貴金属装身具（貴金属装身具製作作業） ア 開催日：令和6年7月31日 イ 場 所：中央職業能力開発協会 会議室（東京都） ウ 出席者：都道府県技能検定委員、中央技能検定委員、厚生労働省 職員
(5) 各都道府県協会 技能検定担当課 長会議の開催	全国47都道府県協会の検定担当課長等へ向けて、次の事項について 説明し、意見交換等を行った。 ・技能検定実施に係る国（厚生労働省）からの情報提供 ・全国の技能検定実施状況報告 ・技能検定実施に係る連絡事項 ・都道府県協会からの意見・要望への回答 [前期] 令和6年5月15日（オンライン） [後期] 令和6年11月7日
(6) 関係団体会議の 開催	より広範囲の意見聴取のため通常の会議開催に代えて、全国的な技 能検定協力団体に対し、育成就労制度創設に伴う技能検定活用に向け たアンケート調査を実施した。

事 項	実 施 状 況
(7) 技能士実態調査の実施	建設関係職種14団体、都道府県技能士会・連合会44団体、建設関係職の団体の会員企業等に対して、技能検定の活用状況・ニーズ等に係る調査を実施した。
2 ビジネス・キャリア検定試験の普及拡大	
(1) ビジネス・キャリア検定試験の実施	42都道府県協会の協力を得て、全国47都道府県において、8分野41試験区分（1級・2級・3級・BASIC級）の試験を実施した。 受験申請者数は、前年度の実績を上回り、過去最高となった（対前年度比4,534名・12.8%増、目標値40,100名・目標達成率99.4%）。 (ア) 受験申請者数 39,858名〔35,324名〕 （うち特定技能2号） 5,073名〔 623名〕 (イ) 合格者数 17,808名〔16,703名〕 (ウ) 実施試験区分 8分野41試験区分〔8分野41試験区分〕 (1級) 人事・人材開発・労務管理、経理・財務管理、営業・マーケティング、生産管理、企業法務、ロジスティクス、経営情報システム、経営戦略 (2級) 人事・人材開発、労務管理、経理、財務管理(財務管理・管理会計)、営業、マーケティング、生産管理プランニング、生産管理オペレーション、企業法務(組織法務)、企業法務(取引法務)、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム(情報化企画)、経営情報システム(情報化活用)、経営戦略 (3級) 人事・人材開発、労務管理、経理(簿記・財務諸表)、経理(原価計算)、財務管理、営業、マーケティング、生産管理プランニング、生産管理オペレーション、企業法務、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム、経営戦略 (BASIC級) 生産管理、ロジスティクス
(2) 効果的なプロモーションの推進	ア 顧客情報の収集・分析等 受験申請者・企業へのアンケートの実施やWeb広告データの収集を通じてニーズを把握するとともに、企業活用事例を収集しホームページで公開した。

事 項	実 施 状 況										
(3) 事業基盤の強化	イ ターゲットを明確にしたプロモーション 厚生労働省(ロジスティクス分野：経済産業省/国土交通省、生産管理分野：経済産業省)の後援名義を活用しながら、分野別リーフレット、企業向けリーフレットといったターゲットに応じた広報媒体の作成・配付やWeb広告を実施するとともに、ホームページやSNS(YouTube・Facebook)を活用したプロモーションを行った。 また、業界団体、新規顧客等の対応のためJILSに相互協力を依頼するとともに、都道府県協会と連携し、都道府県別一括申請企業(特定技能2号)一覧の活用による新規開拓を推進した。 ア 試験体系の整備等 試験問題作成において、チェック体制を確立し質の確保を図るマニュアル整備とともに、Web会議システムを活用した委員会審議により運営の効率化を推進した。 イ 学習支援の充実 試験基準と対応した標準テキストについて、社会経済や技術革新の動向、諸制度等の見直しが反映されたものとなるよう、概ね5年サイクルで改訂しており、2・3級ロジスティクス、経営戦略の標準テキストを改訂するとともに特定技能2号試験受験者の学習支援のツールとして3級生産管理(共通、プランニング、オペレーション)ルビ付き標準テキストを発刊した。 ウ 効率的・効果的な業務運営等の見直し 受験料の値上げ、受験票や結果通知書の電子化による業務運営の効率化、委員会開催回数等の段階的な削減を通じて、事業運営の基盤強化を図った。特定技能2号試験の受験申請者数の増大等に備えた試験実施体制のあり方の検討を進めた。										
3 コンピュータサービス技能評価試験の普及推進	ア コンピュータサービス技能評価試験の実施 45都道府県協会との連携のもと、3部門7等級で試験を実施した。 <table border="0"> <tr> <td>(ア) 受験申請者総数</td><td>28,085名〔31,031名〕</td></tr> <tr> <td>・ワープロ部門</td><td>13,678名〔15,119名〕</td></tr> <tr> <td>・表計算部門</td><td>13,700名〔15,438名〕</td></tr> <tr> <td>・情報セキュリティ部門</td><td>707名〔 474名〕</td></tr> <tr> <td>(イ) 合格者総数</td><td>22,230名〔26,574名〕</td></tr> </table>	(ア) 受験申請者総数	28,085名〔31,031名〕	・ワープロ部門	13,678名〔15,119名〕	・表計算部門	13,700名〔15,438名〕	・情報セキュリティ部門	707名〔 474名〕	(イ) 合格者総数	22,230名〔26,574名〕
(ア) 受験申請者総数	28,085名〔31,031名〕										
・ワープロ部門	13,678名〔15,119名〕										
・表計算部門	13,700名〔15,438名〕										
・情報セキュリティ部門	707名〔 474名〕										
(イ) 合格者総数	22,230名〔26,574名〕										

事 項	実 施 状 況
	イ コンピュータサービス技能評価試験の広報周知 CS試験認定施設の新規開拓、受験申請者数の維持・拡大に向け、次の広報周知を行った。 (ア) CS試験認定施設等へのポスター・パンフレットの配付 (イ) 就労移行支援事業所を対象とした、専用リーフレットの作成・配付 (ウ) 受験申請者数拡大に向けた情報セキュリティセミナーの開催(福岡県)や都道府県協会主催の水準調整会議等への参加による情報セキュリティ部門の普及啓発(宮崎県、熊本県、鹿児島県)

第2 職業生活の全期間を通じたキャリア形成の支援

事 項	実 施 状 況
1 企業におけるキャリア形成の促進	
(1) キャリア形成支援ツールの活用促進及びセミナー・研修の効果的な実施	企業が行う従業員のキャリア形成支援を推進するために、企業の人事・人材育成担当者を対象としたキャリア形成支援セミナーを開催した。 また、役職定年や定年後再雇用のシニア世代になっても活き活き働き続けることを目的に、40代半ば以降の従業員を対象として行う研修（キャリア・シフトチェンジのためのワークショップ）を実施できるインストラクター養成研修と当該研修の修了者を対象としたフォローアップ研修を実施した。 ア キャリア形成支援セミナー （ア）開催日：令和6年10月28日 （イ）場 所：オンライン配信 （ウ）受講者：68名 （エ）講演者：大手前大学経営学部教授 北村雅昭氏 （オ）テーマ：今、求められる持続可能なキャリア イ キャリア・シフトチェンジのためのワークショップインストラクター養成研修（全4回） 第1回開催 （ア）開催日：令和6年7月4日、5日 （イ）場 所：飯田橋レインボービル（東京都） （ウ）受講者：16名 第2回開催 （ア）開催日：令和6年9月26日、27日 （イ）場 所：AP大阪梅田東（大阪府） （ウ）受講者：12名 第3回開催 （ア）開催日：令和6年11月14日、15日 （イ）場 所：飯田橋レインボービル（東京都） （ウ）受講者：22名 第4回開催 （ア）開催日：令和7年1月30日、31日 （イ）場 所：飯田橋レインボービル（東京都） （ウ）受講者：24名

事 項	実 施 状 況
(2) 企業等からの要望に基づく受託研修の実施 2 労働者の主体的な職業能力開発に対する環境整備	ウ キャリア・シフトチェンジのためのワークショップインストラクターフォローアップ研修 (ア) 開催日：令和7年2月8日 (イ) 場 所：中央職業能力開発協会（東京都） (ウ) 受講者：16名 従業員のカリヤ形成等を目的とした研修の実施依頼に対して、中央協会が開発したキャリア形成支援ツール及び研修プログラムによる受託研修を実施した。 (ア) 受託企業数：3社 (イ) 実 施 回 数：3回 (ウ) 受 講 人 数：45名 労働者の自発的な職業能力開発の取組に対する支援及び環境整備として、「教育訓練給付制度講座検索システム」に専門実践教育訓練指定講座、特定一般教育訓練指定講座及び一般教育訓練指定講座に関する情報を提供した。 また、当該講座指定を希望する教育訓練施設の申請に関する調査を行うとともに、当該教育訓練施設からの相談対応を行った。 (参考) 指定講座の概要 ○ 専門実践教育訓練 指定講座数：3,220講座（通学制：2,437件、通信制：783件） ・業務独占資格又は名称独占資格の養成課程：1,890講座 ・専門学校のカリヤ実践専門課程及びキャリア形成促進プログラム：689講座 ・専門職大学院の課程及び外国大学院の学位課程：139講座 ・大学等の職業実践力育成プログラム：231講座 ・第四次産業革命スキル習得講座等：269講座 ・専門職大学等の課程：2講座 教育訓練施設数：1,549施設 ○ 特定一般教育訓練 指定講座数：1,016講座（通学制：714件、通信制：302件） ・業務独占資格、名称独占資格若しくは必置資格の養成課程又はこれらの資格の課程：950講座 ・一定レベル以上の情報通信技術に関する資格の課程：16講座

事 項	実 施 状 況
	・短時間の職業実践力育成プログラム及びキャリア形成促進プログラム：50講座 教育訓練施設数：295施設 ○ 一般教育訓練 指定講座数：12,339講座（通学制：10,179件、通信制：2,160件） 教育訓練施設数：1,790施設 （出所：厚生労働省（令和7年4月1日現在））

第3 ものづくり日本を支える技能の継承・発展及び振興

事 項	実 施 状 況
1 若年者ものづくり競技大会	
(1) 技能競技大会の実施	第19回若年者ものづくり競技大会を、厚生労働省との共催によりGメッセ群馬他、全3会場で以下のとおり開催した。 ア 開催日程：令和6年7月31日（水）～8月1日（木） ※ ・7月31日（水） 競技会場の下見、工具展開、職種別の開会式 ※ ・8月 1日（木） 競技実施 ※ ※ 旋盤職種は 7月30日（火）～8月1日（木）、フライス盤職種は 7月29日（月）～8月1日（木） 全競技終了後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。 ・8月 2日（金） ウェブサイトにて、入賞者（金賞17人、銀賞33人、銅賞28人、敢闘賞69人）を発表した。 なお、入賞者には、メダルと賞状を授与し、金賞受賞者には厚生労働大臣賞として記念の楯を授与した。 イ 開催場所：3会場 Gメッセ群馬、群馬県立高崎産業技術専門校、栃木県立県央産業技術専門校 ウ 競技職種：15職種 メカトロニクス、機械製図（CAD）、旋盤、フライス盤、電子回路組立て、電気工事、木材加工、建築大工、自動車整備、ITネットワークシステム管理、ウェブデザイン、業務用ITソフトウェア・ソリューションズ、グラフィックデザイン、ロボットソフト組込み、造園 エ 参加選手：354人 オ 来 場 者：7,726人（その他、ライブ配信のアクセス数：22,662PV）
(2) 技能競技大会の周知	競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。 ア ガイドブック（参加選手名簿、競技課題等を掲載）の作成・配付 （ア）作成部数：1,400部

事 項	実 施 状 況
	(イ) 配 付 先：競技委員、選手、来場者等 イ 技能五輪全国大会成績優秀者等によるデモンストレーションの実施 (ア) 実 施 日：令和6年8月1日（木） (イ) 実施場所：Gメッセ群馬、群馬県立高崎産業技術専門校、栃木県立県央産業技術専門校 (ウ) 実施職種：電子回路組立て、電気工事、旋盤及びフライス盤 ウ ウェブサイトを活用した情報の提供 (ア) 掲載内容：競技課題のほか、直接会場に来場できない方のために、競技スケジュールや参加者名簿を掲載 (イ) アクセス数：101,657件（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
2 技能五輪全国大会	
(1) 技能競技大会の実施	第62回技能五輪全国大会を厚生労働省及び愛知県との共催により、愛知県国際展示場他、全13会場で以下のとおり開催した。併せて、すべての職種においてライブ配信を行った。 本大会は、一部競技会場において、会場内入場者管理を行う必要が生じたことから、大会関係者含む来場者全員の事前登録を行った。 ア 開催日程：令和6年11月22日（金）～25日（月） ・11月22日（金） 競技会場の下見、工具展開 ・11月23日（土） 競技実施【一部職種は先行して実施】 ・11月24日（日） 全競技が終了。その後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。 ・11月25日（月） 閉会式において、大会の入賞者（金賞43人、銀賞85人、銅賞96人、敢闘賞152人）を発表した。 なお、入賞者には、メダルと賞状を授与し、金賞受賞者には厚生労働大臣賞として賞状と記念の楯を授与した。また、最優秀選手団には厚生労働大臣賞として、優秀選手団には厚生労働省人材開発統括官賞、中央職業能力開発協会会長賞または全国技能士会連合会会長賞として、それぞれ賞状と記念の楯を授与した。 イ 開催場所：13会場 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]、日立 Astemo 株式会社 佐和グローバル教育センタ、愛知県立愛知総合工科高等学校、中部職業

事 項	実 施 状 況
(2) 技能競技大会の周知 3 二次予選会の実施 (1) 予選会の運営	能力開発促進センター〔ポリテクセンター中部〕、長野県松本技術専門学校 ふれあい技能センター、千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター〔高度ポリテクセンター〕、春日井市落合公園体育館、学校法人啓倫学園 国際製菓専門学校、学校法人誠心学園 東京誠心調理師専門学校、元愛知県立常滑高等学校、学校法人後藤学園 武蔵野調理師専門学校、トヨタ自動車株式会社 多治見サービスセンター、静岡県立工科短期大学校 静岡キャンパス ウ 競技職種：41職種 機械組立て、プラスチック金型、精密機器組立て、メカトロニクス、機械製図、旋盤、フライス盤、構造物鉄工、電気溶接、試作モデル製作、タイル張り、自動車板金、曲げ板金、配管、電子機器組立て、電気、工場電気設備、左官、家具、建具、建築大工、貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、自動車工、西洋料理、造園、和裁、日本料理、レストランサービス、車体塗装、冷凍空調技術、ITネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン、とび、時計修理、移動式ロボット エ 参加選手：976人 オ 来 場 者：40,043人(その他、ライブ配信のアクセス数:125,985PV) ウェブサイトを通じて、以下のとおり広報等を行った。 ア 掲載内容：競技課題のほか、直接会場に来場できない方のために、競技スケジュールや参加者名簿を掲載 イ アクセス数：353,027件（令和6年4月1日～令和7年3月31日） 旋盤職種及び電子機器組立て職種について、以下のとおり二次予選会を行い、技能五輪全国大会への参加人数の調整を行った。 ア 旋盤職種 (ア) 開 催 日：令和6年7月27日（土）、28日（日） (イ) 開催場所：日立工業専修学校、中部職業能力開発促進センター〔ポリテクセンター中部〕、関西職業能力開発促進センタ

事 項	実 施 状 況
	ー [ポリテクセンター関西] (ウ) 参加選手：68人 イ 電子機器組立て職種 (ア) 開 催 日：令和6年8月27日（火） (イ) 開催場所：MEETING SPACE AP西新宿 (ウ) 参加選手：32人
(2) 技能五輪全国大会への参加選手の選考	工業高校生等に対して、技能五輪全国大会への出場機会を与えるとともに、出場レベルの技能を有している者を選考するため、以下のとおり選考を行った。 ア 開 催 日：令和6年7月31日（水）～8月1日（木） ※ ※ ITネットワークシステム管理職種は 7月29日（月）～30日（火） イ 開催場所：Gメッセ群馬 ウ 実施職種：5職種 メカトロニクス、自動車整備、ITネットワークシステム管理、ウェブデザイン、ロボットソフト組込み
4 CNC 2職種の代表選考会実施に向けた準備	
(1) 競技会場候補の確保	令和7年度に実施予定の選考会に向けて、会場調査を行った。 ア 実 施 日：令和6年8月23日（金） イ 調査会場：DMG森精機株式会社 伊賀事業所
(2) 全国大会における旋盤職種及びフライス盤職種の競技のあり方等の検討	国際大会ではCNC、国内大会では汎用機を使用して行っている現状について、競技のあり方等を検討する検討会を開催した。 ア 開 催 日：令和6年6月17日（月） イ 開催方式：対面・WEB併用

事 項	実 施 状 況
5 国際大会への派遣等 (1) 国際大会への派遣	ア 派遣前研修の実施 (ア) 開催日：令和6年5月14日（火）～15日（水） (イ) 開催場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口 ・参加者：日本代表選手、エキスパート等 103 名 ・内 容：選手、エキスパートの当該大会準備のための各種情報（大会スケジュール、工具輸送手続き、選手団派遣計画、現地ホテルやその周辺情報等）を提供するとともに、国際大会出場に向けた準備、心構え、選手の食事・体調管理での対応方法等について研修を行った。 イ 現地調査の実施 大会招致に係る現地調査に併せ、選手団派遣に係る情報収集を行った。 (ア) 実施期間：令和6年7月1日（月）～7日（日） (イ) 実施場所：フランス・リヨン ウ 通訳研修 選手、エキスパート及び通訳者のチームワーク力の向上及び現地でのスムーズな業務遂行を目的として、事前に専門用語の習得や大会本番を模した訓練を行った。 (ア) 実施期間：令和6年5月14日（火）～リヨン大会派遣前まで (イ) 実施場所：原則として、選手の所属事業所・訓練場所またはエキスパートの所属事業所（オンラインも含む） (ウ) 対 象 者：48名 エ 日本代表選手団派遣 第47回技能五輪国際大会（フランス・リヨン）に以下のとおり選手団を派遣した。 (ア) 派遣期間：令和6年9月3日（火）～18日（水）（9月10日（火）開会式典、9月11日（水）～14日（土）競技、9月15日（日）閉会式典（表彰）） (イ) 被派遣者：選手55名（47職種）、エキスパート49名、通訳47名、選手団役員（名誉団長、招致責任者、選手団団長、公式代表、技術代表、技術代表補佐及びチームリーダー）12名、日本代表事務局スタッフ2名、通訳等52名

事 項	実 施 状 況
(2) 選手等の士気高揚に係る取組 6 国際大会に向けた選手等の競技力強化 (1) 技能五輪国際大会選手強化委員会の設置 (2) 職種別分科会等の設置	(ウ) 結団式、表敬訪問： 9月4日（水） 日本選手団結団式（都市センターホール） 9月5日（木） 表敬訪問、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御接見（赤坂東邸）、首相官邸（林官房長官）、厚生労働省（三浦大臣政務官） オ 工具等の運搬費の支援 工具等の運搬費について、WSI及びリヨン大会組織委員会から情報を収集し、支援を行った。 グラフィックデザイン職種元日本代表選手がデザインした選手団の統一的なユニフォーム、ブルゾン、ポロシャツを作成するとともに、開会式等で日本国旗の手旗やスティックバルーンなどの応援グッズを日本人関係者に配布し、日本人選手の士気高揚を図った。 令和5年度技能五輪国際大会選手強化委員会での検討事項を引き継ぎ、選手の競技力強化策等について検討を行った。 ・実施時期：令和6年6月17日（月）、12月5日（木）、令和7年3月18日（火） 3回 ・委 員：ワールドスキルズ日本技術代表、国際大会に豊富な知見を有する学識経験者、国際大会に選手を出場させている企業又は団体に所属する者等 ア 職種別分科会 ・実施時期：令和6年4月～令和7年2月 職種ごとに実施 ・委 員：令和4年度の特別大会のエキスパート、フランス・リヨン大会のエキスパート、日本代表選手所属企業・業界団体の指導者等 イ 職種別分科会長会議 ・実施時期：令和6年12月12日（木） オンライン開催 1回 ・委 員：各職種分科会長等

事 項	実 施 状 況
(3) 強化訓練への支援等 (4) 地域技能競技大会等への派遣 (5) 北東アジア地域技能交流	ウ 職種横断的な戦略検討チーム ・実施時期：令和7年2月12日（水） 1回 ・委 員：学識者、企業群が複数の職種にわたり主体的に活動している製造系職種等の企業関係者、製造系以外の業界団体関係者等 エ 職種横断的な活動支援チーム ・実施時期：令和7年2月12日（水） 1回 ・委 員：建設系、アート・ファッション系及びサービス系職種の企業・学校・業界団体関係者等 オ 個別支援（コンサルティング） ・実施時期および職種 令和6年7月13日（土）～15日（月）：建具 令和6年7月17日（水）：自動車工 令和6年7月20日（土）：科学実験技術 ・委 員：強化委員、職種別分科会委員、特別大会エキスパート等 職種別分科会において策定された強化訓練計画、エキスパート養成計画等に基づき、強化訓練等を実施した。また、強化訓練に係る各種研修や材料等の支援を行った。 ア 一带一路国際技能競技大会 (ア) 派遣期間：令和6年6月21日（金）～27日（木） (イ) 派遣国：中国・重慶 (ウ) 被派遣者：選手・エキスパート・オブザーバー各3名（情報ネットワーク施工職種、電子機器組立て職種、美容／理容職種）、職員2名 イ グローバル・スキルズ・チャレンジ大会 (ア) 派遣期間：令和6年5月20日（月）～27日（月） (イ) 派遣国：オーストラリア・メルボルン (ウ) 被派遣者：職員2名 ア Chinese Taipei's National Skills Competitionへの派遣 (ア) 派遣期間：令和6年7月17日（水）～21日（日） (イ) 派遣国：台湾・台北 (ウ) 被派遣者：職員2名

事 項	実 施 状 況
(6) ワールドスキルズ・アジア総会への派遣	イ 韓国・台湾代表者招聘 北東アジアの代表者を招聘し、第62回技能五輪全国大会の視察等を行った。 (ア) 招聘期間：令和6年11月22日（金）～26日（火） (イ) 招 聘 国：韓国、台湾 ア 第8回ワールドスキルズ・アジア総会 (ア) 開催期間：令和6年11月19日（火）～23日（土） (イ) 派 遣 国：台湾・台北 (ウ) 被派遣者：技術代表及び職員（計2名）
7 2028年技能五輪国際大会の招致 (1) 提案書等の作成 (2) 2028年国際大会の招致実現に向けた支持要請等 (3) フランス・リヨン大会会場におけるPRブースの設置 (4) 2028年国際大会の開催に向けたWSI事務局との調整 (5) 「2028年技能五輪国際大会組織委員会(仮称)」の設立準備	令和5年度に検討を行ってきた基本計画及び令和6年3月に実施したWSI検証訪問の結果を踏まえ、大会招致有識者検討会委員の意見を取り入れた提案書、プレゼンテーション資料を作成し、令和6年9月9日にフランス・リヨンで開催されたWSI総会においてプレゼンテーションを行った結果、日本への招致が決定した。 地域技能競技大会、ワールドスキルズ・アジア総会等の機会をとらえて公式代表、技術代表を派遣し、参加国／地域の関係者に支持要請を行った。 フランス・リヨン大会の会場にPRブースを設置し、2028年技能五輪国際大会の招致が日本に決定した際には、大会及び開催地のPRを行った。 WSJの公式代表を窓口として、WSI事務局との連絡、調整等を行った。 令和7年夏の設立に向けて、準備を行った。

事 項	実 施 状 況
(6) 国際大会開催国の視察等	2028 年技能五輪国際大会開催準備の参考にするために、2024 年 9 月にフランス・リヨンで開催された技能五輪国際大会について、大会組織委員会元職員、地方自治体関係者及びワールドスキルズ・フランス関係者を対象に聞き取り調査を行った。 (ア) 訪 問 国：フランス (イ) 実施時期：令和7年1月19日（日）～24日（金）
(7) 国際大会開催に向けた情報収集・調査等の実施	WSI が主催する会議等に参加し、情報収集や情報交換を行った。 また、国際大会で採点等に使用されている CIS（コンペティション・インフォメーション・システム）を第 62 回技能五輪全国大会で導入し、6 職種において、採点を行った。
8 若年技能者人材育成支援等	
(1) ものづくりマイスターの認定・登録等	ア ものづくりマイスター認定申請書の審査及び結果通知 ものづくりマイスターの認定を行うため、7月24日、10月22日、1月22日の計3回認定委員会を開催した。 地域技能振興コーナー（以下「コーナー」という。）を経由して提出されたものづくりマイスター、ものづくりマイスター（+DX）及びものづくりマイスター（IT部門）の認定申請書について審査を行い、延べ531名を認定し、認定者には、コーナーを通じて認定証を交付した。 イ ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施 全国のコーナーにおいて、中小企業・団体や工業高校等からの要請を受けてものづくりマイスターを派遣し、実技指導を実施した。 派遣に当たっては、コーナーにおいて要請先の指導ニーズを的確に把握した上で効果的な指導となるよう、ものづくりマイスターの選定と実技指導内容について適切なコーディネートを実施した。 ものづくりマイスターの年間活動実績：168,729人日
(2) ものづくりマイスターの活用に係る業務	ア ものづくりマイスターを活用した人材育成についてのコンセンサス形成 (ア) ものづくりマイスターパンフレットの作成 ものづくりマイスターの指導内容や派遣先企業等の声をまとめ

事 項	実 施 状 況
	たパンフレットを電子データで作成し、ポータルサイトに掲載するとともにコーナーに周知した。 (イ) 指導好事例集の作成、普及 ものづくりマイスターの活用促進を図るため、派遣先企業等の新規開拓に関する好事例について地域技能振興コーナーから発表する講習会を11月27日、12月11日の計2回オンライン開催した。 イ ものづくりマイスターの実技指導支援 (ア) 指導技法講習の講師養成研修の実施 ものづくりマイスターに対する講師向け養成研修会を9月9日、2月14日の計2回オンライン開催した（計41名参加）。また、ものづくりマイスター（IT部門）に対する講師向け養成研修会を12月20日にオンライン開催した（54名参加）。 (イ) 事例発表・意見交換会の実施 ものづくりマイスターを対象とした事例発表・意見交換会を認定者数の多い職種から、以下の3職種についてオンラインで実施し、結果を好事例モデルとしてコーナーに提供した。 【家具製作職種】9月4日 参加者16名（うち発表者 2名） 【機械検査職種】9月17日 参加者26名（うち発表者 2名） 【鉄筋施工職種】10月29日 参加者11名（うち発表者 2名） (ウ) 3級技能検定実技試験課題を用いた人材育成マニュアルの動画コンテンツの作成 平成28、29年度作成の3級技能検定実技試験課題を用いた人材育成マニュアルのうち、製造業については「機械加工（フライス盤作業）編」、建設業については「左官（左官作業）編」について、それぞれ動画作成委員会を設置して動画コンテンツを作成し、ポータルサイトにYouTubeへのリンク及びダウンロード用のデータを掲載した。
(3) 地域における技能振興事業	ア 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成 令和6年度の被表彰者150名の紹介コンテンツを作成し、ポータルサイトに掲載した。 イ 「技能振興ポータルサイト（技のとびら）」を通じた情報提供 ものづくりマイスターパンフレットや指導好事例集等を閲覧者に広く見てもらえるよう、分かりやすい内容でコンテンツ化し掲載した。 また、閲覧者がいち早く知りたいと考えられる新着情報を速やか

事 項	実 施 状 況
(4) その他	にお知らせ欄等に掲載するとともに、SNS（Facebook、X）により定期的（週2回）に発信し、アクセスの向上を図った。 年間アクセス数：474,506ページビュー ア 全国会議、コーナー職員会議の開催 47都道府県地域技能振興コーナー参加のもと、4月24日に全国会議を開催し、令和6年度事業を円滑に実施していく際の留意点等について説明及び質疑応答を実施するとともに、9～10月にかけて4グループに分けて、コーナー職員会議を開催し、各種議題等に関する意見交換を実施した。 イ 関係団体との連携 全国中小企業団体中央会、全国工場団地協同組合連合会等を訪問し、ものづくりマイスターの新規開拓に関する周知広報を依頼した。

第4 広報出版・情報資料の提供

事 項	実 施 状 況
1 職業能力開発の推進のための広報活動	技能検定をはじめとする、能力開発・能力評価関連事業の周知・広報のため、次の活動を行った。 ア ホームページによる広報活動 ホームページ (https://www.javada.or.jp/) にて、当協会の基本情報を提供したほか、技能検定、コンピュータサービス技能評価試験、ビジネス・キャリア検定試験をはじめ、キャリア形成支援、各種技能競技大会、若年技能者人材育成支援、図書の購入等について情報提供及びPRを実施した。 年間アクセス数：9,183,824 ページビュー [9,065,276 ページビュー] イ 関係団体等と連携した広報の実施 関係団体が発行するメールマガジンへの記事掲載や、技能五輪全国大会等のイベントの機会を活用した各種事業の広報活動等を行ったほか、月刊誌等の紙面に当協会事業の広告を掲載した。
2 職業能力開発・評価に関する出版物の発行	次の図書を作成した。 ア コンピュータサービス技能評価試験 ワープロ部門 3級 テキスト&問題集【改訂第2版】 8,000部 ワープロ部門 2級 テキスト&問題集【改訂第2版】 5,500部 表計算部門 3級 テキスト&問題集【改訂第2版】 8,000部 表計算部門 2級 テキスト&問題集【改訂版】 5,500部 ワープロ部門練習問題集 Ver.4 ～Word / Windows編～ 「Word2016対応版」 800部 表計算部門練習問題集 Ver.4 ～Excel / Windows編～ 「Excel2016対応版」 500部 イ C A D S & C A D I C A D I (環境変化自己診断ツール) Ver.3.0 2,500部 ウ キャリア・シフトチェンジのためのワークショップ教材セット 3,000部

第5 会務等

事 項	実 施 状 況																										
1 会員及び役員	ア 会員 令和7年3月31日現在における会員は、次のとおりである。 <table><tr><td>都道府県協会会員</td><td>47</td><td>(47)</td></tr><tr><td>団 体 会 員</td><td>218</td><td>(221)</td></tr><tr><td>企 業 会 員</td><td>59</td><td>(60)</td></tr><tr><td>計</td><td>324</td><td>(328)</td></tr></table> 注 () 内は、令和6年3月31日現在の会員数である。 イ 役員 令和7年3月31日現在における役員は、次のとおりである。 <table><tr><td>会 長</td><td>1名</td></tr><tr><td>副 会 長</td><td>2名</td></tr><tr><td>理 事 長</td><td>1名</td></tr><tr><td>常務理事</td><td>1名</td></tr><tr><td>理 事</td><td>30名(副会長、常務理事を除く)</td></tr><tr><td>監 事</td><td>2名</td></tr><tr><td>計</td><td>37名</td></tr></table>	都道府県協会会員	47	(47)	団 体 会 員	218	(221)	企 業 会 員	59	(60)	計	324	(328)	会 長	1名	副 会 長	2名	理 事 長	1名	常務理事	1名	理 事	30名(副会長、常務理事を除く)	監 事	2名	計	37名
都道府県協会会員	47	(47)																									
団 体 会 員	218	(221)																									
企 業 会 員	59	(60)																									
計	324	(328)																									
会 長	1名																										
副 会 長	2名																										
理 事 長	1名																										
常務理事	1名																										
理 事	30名(副会長、常務理事を除く)																										
監 事	2名																										
計	37名																										
2 各種会議の開催	ア 総会・理事会 (7) 第72回理事会 a 開 催 日：令和6年6月20日 b 場 所：TKP赤坂カンファレンスセンター（東京都） c 出 席 者：理事会構成人員35名中34名（含委任状） d 議 長：会長 大橋 徹二 e 議事次第 (a)議決事項 第1号議案 中央職業能力開発協会定款の変更（案）に関する件 第2号議案 令和5年度事業報告（案）に関する件 第3号議案 令和5年度収支決算（案）に関する件 第4号議案 役員の選任（案）に関する件 上記議案について審議し、原案のとおり了承された。 (b)報告事項 ・役員及び参議の選任について (i) 第45回通常総会 a 開 催 日：令和6年6月20日 b 場 所：TKP赤坂カンファレンスセンター（東京都） c 出 席 者：会員総数325名中258名（含委任状）																										

事 項	実 施 状 況
	d 議 長：会長 大橋 徹二 e 議事次第 (a)議決事項 第1号議案 中央職業能力開発協会定款の変更(案)に関する件 第2号議案 令和5年度事業報告(案)に関する件 第3号議案 令和5年度収支決算(案)に関する件 第4号議案 令和6年度事業計画(案)に関する件 第5号議案 令和6年度収支予算(案)に関する件 第6号議案 役員の選任(案)に関する件 上記議案について審議し、原案のとおり了承された。 (b)報告事項 ・役員及び参議の選任について (ウ) 第73回理事会 a 開 催 日：令和6年6月20日 b 場 所：TKP赤坂カンファレンスセンター(東京都) c 出 席 者：理事会構成人員35名中34名(含委任状) d 議 長：会長 大橋 徹二 e 議事次第 (a)議決事項 第1号議案 副会長、常務理事の指名に関する件 第2号議案 参与の委嘱に関する件 第3号議案 参議の選任(案)に関する件 第4号議案 中央職業能力開発協会の主たる事務所の移転に関する件 上記議案について審議し、原案のとおり了承された。 (エ) 第74回理事会 a 開 催 日：令和7年3月27日 b 場 所：アルカディア市ヶ谷(東京都) c 出 席 者：理事会構成人員35名中35名(含委任状) d 議 長：会長 大橋 徹二 e 議事次第 (a)議決事項 第1号議案 令和7年度事業計画(案)に関する件 第2号議案 令和7年度収支予算(案)に関する件 上記議案について審議し、原案のとおり了承された。 イ 第46回参与会議 (ア) 開 催 日：令和7年2月14日

事 項	実 施 状 況																	
	(イ) 場 所：AP西新宿（東京都） 集合形式及びWeb形式のハイブリッド形式で開催 (ウ) 座 長：赤松 明 氏 (エ) 次 第：令和6年度事業実績（第3四半期まで）について ウ ブロック別会議 中央協会と都道府県協会とが一体となり事業を推進していくため、事業全般の諸課題等について、中央協会と都道府県協会との意見交換や情報提供等を目的とした会議をWeb会議形式によりオンラインで開催した。 (ア) 関東・甲信越及び東海・北陸ブロック及び中国・四国ブロック 令和7年2月5日 (イ) 北海道・東北及び近畿ブロック及び九州ブロック 令和7年2月19日																	
3 都道府県協会職員研修の実施	協会職員の資質・能力の向上を図るため、次のとおり研修を実施した。 (ア) 開催日：令和7年2月13日 (イ) 場 所：Web会議形式によりオンラインで開催 (ウ) 内 容：伝わりやすい話し方研修																	
4 デジタル化の推進	情報セキュリティ対策上必須となる、緊急性の高い次の事項等の対応を行った。 (ア) システム機器の移設 (イ) 電話関係システムの更新（リプレイス） (ウ) インターネット接続サービスの見直し																	
5 会長表彰等	職業能力の開発及び向上の促進を図り、技能者の意気高揚を促し技能尊重気運を醸成するため、「職業能力開発関係表彰式」を開催し、「職業能力開発事業関係」、「技能検定事業関係」及び「技能振興事業関係」の事業所、団体及び功労者に対し会長表彰を行った。 (ア) 開催日：令和6年11月20日 (イ) 場 所：明治記念館（東京都） (ウ) 被表彰者：208件〔214件〕 <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">職業能力 開発事業 関係</th><th colspan="2">技能検定事業関係</th><th rowspan="2">技能振興 事業関係</th></tr><tr><th>中 央</th><th>都道府県</th></tr><tr><td>事業所及び団体</td><td>1〔2〕</td><td>5〔5〕</td><td>18〔20〕</td><td>0〔2〕</td></tr><tr><td>功労者</td><td>20〔22〕</td><td>24〔25〕</td><td>125〔121〕</td><td>15〔17〕</td></tr></table>	区 分	職業能力 開発事業 関係	技能検定事業関係		技能振興 事業関係	中 央	都道府県	事業所及び団体	1〔2〕	5〔5〕	18〔20〕	0〔2〕	功労者	20〔22〕	24〔25〕	125〔121〕	15〔17〕
区 分	職業能力 開発事業 関係			技能検定事業関係			技能振興 事業関係											
		中 央	都道府県															
事業所及び団体	1〔2〕	5〔5〕	18〔20〕	0〔2〕														
功労者	20〔22〕	24〔25〕	125〔121〕	15〔17〕														

事 項	実 施 状 況			
6 職業訓練生災害 傷害保険制度の推 進	職業訓練施設に在籍する訓練生の訓練中又は通校途中の傷害事故に 対する保険制度を次のとおり実施した。			
	区 分	公 共	認 定	合 計
	加 入 者	33,089 名 〔35,354 名〕	573 名 〔625 名〕	33,662 名 〔35,979 名〕
	支給件数	702 件〔761 件〕 【0 件〔0 件〕】	14 件〔13 件〕 【0 件〔0 件〕】	716 件〔774 件〕 【0 件〔0 件〕】
(注) 支給件数欄中の【 】内の数値は、死亡事故に係る支給件数で内 数である。				